

平成30年10月24日
金沢城・兼六園管理事務所
TEL 234-3800
県庁内線 6537・6538

兼六園の雪^{ゆき}吊りについて

特別名勝「兼六園」では、雪害から樹木を守るため毎年雪吊りを実施しています。この雪吊りは、北陸の冬の風物詩となっており、今年も下記のとおり実施します。

記

- 1 作業開始日時 11月1日(木) 午前9時から
- 2 作業開始樹木
「唐崎松」
園内随一の枝ぶりを誇るこの松は、5本の芯柱が立てられ、総数約800本の縄で枝を吊ります。
なお、当日雨天の場合は、高さの低い樹木から作業を開始します。
その場合、唐崎松の雪吊りは11月2日(金)8時を予定しています。
- 3 兼六園雪吊りの概要
 - (1)種類と本数
 - ・リンゴ吊り 54本 (唐崎松、^{すこも}巢籠り松ほか)
 - ・幹吊り 60本 (根上松、播州松ほか)
 - ・その他 約700箇所 (ツツジほか)
 - (2)使用材料等
 - ・わら縄 約4,000kg(径6mm及び8mmの2種類を使用)
 - ・芯柱 アテ丸太、真竹
 - (3)延べ作業人数 約500人
11月1日(庭師6名、市内造園業者7名)
 - (4)作業終了時期 12月中旬(予定)

兼六園の雪吊り

1 兼六園の雪吊り作業について

特別名勝「兼六園」では、雪害から樹木を守るため、毎年11月1日から雪吊りを実施しています。

北陸の冬の風物詩を観賞、堪能してください。

2 兼六園の雪吊り

(1)作業開始日時 11月1日(木) 午前9時から

(2)作業開始樹木

雪吊り作業は、毎年「唐崎松」から始めます。

園内随一の枝ぶりを誇るこの松は、5本の芯柱が建てられ、総数約800本の縄で枝を吊ります。

ただし、雨天や強風の場合は、作業員が芯柱に登ると滑り落ちる危険がありますので、低い樹木から作業を開始します。

■唐崎松 ・高さ9.0m、枝張り21.0m、幹周り2.6m

・芯柱 アテ丸太5本（最大高さ16.0m）

・藁縄(荒縄) 径6、8mmの縄を50～200本/芯柱 使用 合計約800本

(3)雪吊り作業期間

11月1日～12月中旬の予定

なお、雪吊りの取り外しは、3月中旬から約1週間で完了します。「唐崎松」を一番最後に取り外し、北陸の春を迎えます。

(4)作業人数

兼六園の庭師（6名）が中心となり、金沢市内の造園業者の協力も得て、延べ人数約500人で作業を実施します。

3 園内雪吊りの種類と本数等

(1)種類、本数

・りんご吊り	(唐崎松、巢籠り(すごもり)松ほか)	54本
・幹吊り	(根上松、播州松ほか)	60〃
・その他	(ツツジほか)	約700箇所

(2)使用材料

・ワラ縄：径6、8mmの2種類使用 総重量 約4,000kg

・芯柱：アテ丸太、真竹

(3)その他

・芯柱、真竹などは、劣化したものを除き翌年、再使用します。

・雪吊り取り外し後、藁縄は刻んで堆肥にしています。（卯辰山苗圃）

□お問い合わせ 石川県金沢城・兼六園管理事務所

TEL (076)234-3800

県庁内線 6537・6538